

## 自己決定・自己表現の機会を！

大型連休を終え、子ども達は、学習や運動会の練習で自分の力を出し切ろうと「自分磨き」をしています。まさに、本年度のテーマである「神石キラキラ大作戦」を意識しながら行動しているといえます。

さて、地域や保護者の方からよく「もっと大きな声であいさつをしてくれるとよいのに。」という声を聞きます。そこで、学校では子ども達にしっかりと自信をもたせるため、自分を表現する機会をつくることが大事だと考え、「自己決定」「自己表現」の機会をつくる取組を進めています。例えば、授業の中では、全体の場で自分の考えを発表させる前に、ペアやグループなどの小集団でしっかりと自分の考えを表現する機会「自己表現の場」を設けています。その話し合いの場では、自分は「友達の考えと同じです。」「友達の考えとは違って……。」などと、自分の立場をはっきりさせて発言「自己決定」「自己表現」しています。全校の活動では、今年度児童会が毎月1回縦割り班遊びを企画するということで、



毎月第2週の火曜日の朝会の時に、各縦割り班で集まって話し合い活動をしています。その時にも、「自分は、〇〇の遊びがしたいです。わけは、△△だからです。」と自分の考えを周りの人に伝えて「自己決定」「自己表現」しています。このような表現を1年生から6年生まで全員するわけです。まだまだ小さな取組かもしれませんが、「自己決定」し、「自己表現する」場を設け活動することは、必ず子ども達に自信をもたせること・自己肯定感を高

めることにつながると信じています。

これら「自己決定」し、「自己表現」することは、現在、広島県教育委員会が15歳の生徒に身に付けてもりたい力「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」にもつながるものと考えています。

ご家庭でも、子どもさんに、様々な機会を通して、「自己決定」「自己表現」をさせてみられることも大切なことだと思いますので、ご協力をいただきたいと思います。

校長 田丸 栄